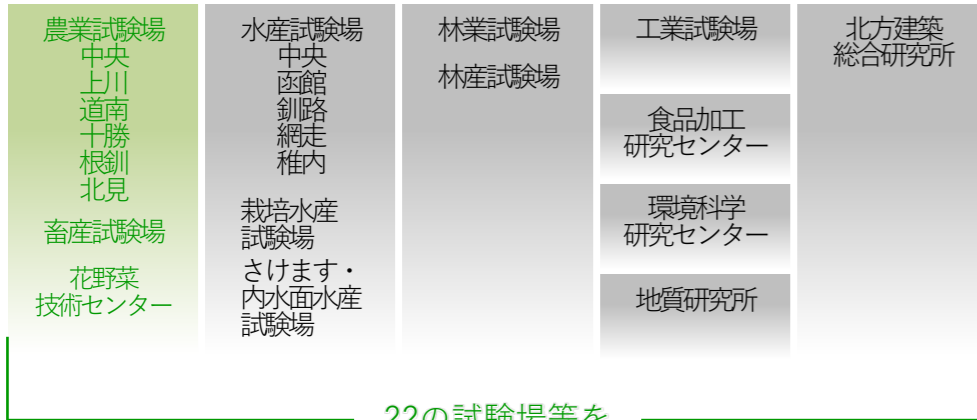


道総研とは >

地方独立行政法人北海道立総合研究機構（道総研）は、平成22年4月に8分野・22の北海道立の試験研究機関を統合して設立された組織です。



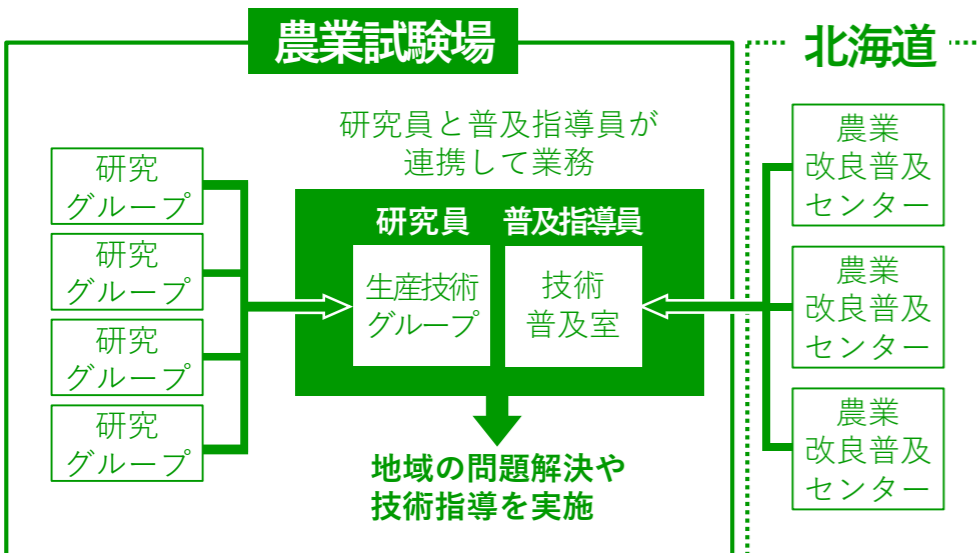
5つの研究本部に統合



行政・普及事業との連携 >

各農業試験場には、道庁の農業改良普及センターの普及指導員が駐在する「技術普及室」を設けています。

研究員が普及員と同室で業務を行うことで、普及・行政と試験場が一体となって地域の問題解決や技術指導を実施しています。



農業研究本部・農業試験場の住所・電話番号

中央農業試験場	069-1395	北海道夕張郡長沼町東6線北15号	0123-89-2001
遺伝資源部	073-0013	北海道滝川市南滝の川363-2	0125-23-3195
水田農業部	069-0365	北海道岩見沢市上幌向町216	0126-26-1518
原子力環境センター	045-0123	北海道岩内郡共和町宮丘261-1	0135-67-7620
上川農業試験場	078-0397	北海道上川郡比布町南1線5号	0166-85-2200
道南農業試験場	041-1201	北海道北斗市本町680番地	0138-77-8116
十勝農業試験場	082-0081	北海道河西郡芽室町新生南9線2番地	0155-62-2431
北見農業試験場	099-1496	北海道常呂郡訓子府町字弥生52	0157-47-2146
酪農試験場	086-1135	北海道標津郡中標津町旭ヶ丘7番地	0153-72-2004
天北支場	098-5738	北海道枝幸郡浜頓別町緑ヶ丘8丁目2	01634-2-2111
畜産試験場	081-0038	北海道上川郡新得町字新得西5線39-1	0156-64-0616
花・野菜技術センター	073-0026	北海道滝川市東滝川735	0125-28-2800

職員数：農業研究本部415名（うち研究職員264名）令和2年4月現在

地域毎に異なる気象・土地条件に合わせ、各地で試験研究を実施。



各試験場では、随時、**見学・研修・相談**を受け付けております。
 花・野菜技術センターでは、花き・野菜技術研修を行っております。
 各試験場にお電話でお問い合わせいただくか、ホームページの案内をご覧ください。

地方独立行政法人北海道立総合研究機構 農業研究本部
 069-1395 北海道夕張郡長沼町東6線北15号
 TEL：0123-89-2001 FAX：0123-89-2060
 URL：http://www.hro.or.jp/list/agricultural/index.html

令和2年4月作成



地方独立行政法人
 北海道立総合研究機構

農業研究本部



◆ 農業研究本部の研究 ◆

水稻（米）

品種開発（米の品質比較）



美味しくて、病気に強く、収量の多い品種を開発しています。

「ゆめぴりか」
「ななつぼし」
「きたくりん」など

美味しいお米がたくさん穫れる栽培技術の研究を行っています。

米の栽培試験



畑作物（麦・豆・ばれいしょ・てんさい）

品種開発（大豆の選抜ほ場）



美味しくて、加工し易く、病気に強い品種を開発しています。

小麦「きたほなみ」
大豆「ユキホマレ」
小豆「きたろまん」など

品質の高い畑作物を安定して生産できる技術の研究を行っています。

小麦の栽培試験



園芸（野菜・花き・果樹）

品種開発（いちご「ゆきララ」）



美味しくて、病気に強く、収量の多い品種を開発しています。

いちご「ゆきララ」
さくらんぼ
「ジュンブライト」

北海道の気象に合った園芸作物の栽培技術を研究しています。

さくらんぼの栽培試験



病害虫・農業環境・機械

かぼちゃ「つる枯病」



病害虫の診断や防除対策の研究のほか、病害虫の発生に関する情報を発信しています。

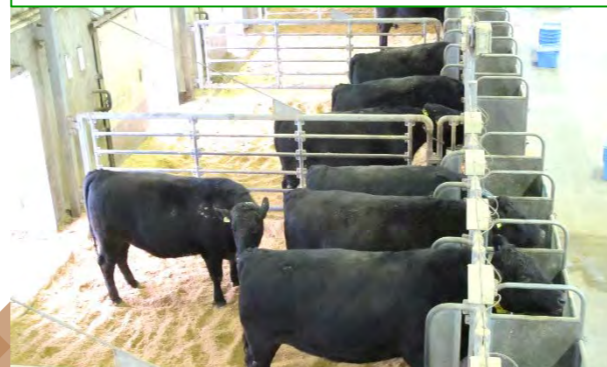
減農薬・減化学肥料栽培や有機農業の研究のほか、土壌改良、施肥技術、ICTの活用や農業経営の研究も行っています。

土壌断面調査



酪農・畜産・飼料作物

肉牛の飼養管理



乳牛の飼養管理や繁殖技術のほか、家畜（肉牛、豚、地鶏）の品種改良等の研究を行っています。

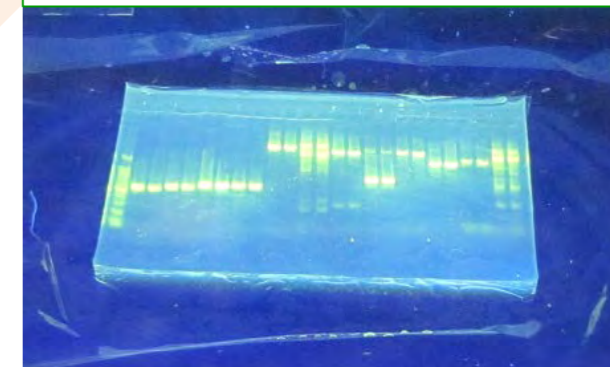
家畜のエサとなる飼料作物の品種開発や生産技術の研究を行っています。

飼料作物の栽培試験



バイオテクノロジー・遺伝資源

DNAの電気泳動



遺伝子の解析やDNAを使った技術の研究を行っています。

遺伝資源の種子の保存管理や主要農作物（米、麦、大豆）の種子の生産を行っています。

作物の種子(遺伝資源)を長期保存

